（令和８年１１月２日更新）

令和８年度

教育功労者功績概要

千葉県教育委員会

１　教育行政の部

野田市教育委員会教育長　　**染　谷　　篤**

令和３年、野田市教育委員会教育長に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を活かし、野田市の学校教育、生涯学習の振興に尽力した。学校トイレの洋式化、中学校体育館空調設置など学校施設の環境改善、小中学生を対象とした「子ども未来教室」の拡充、ＩＣＴ活用の推進、学校給食センターの移転改築など教育環境の整備に取り組んだ。令和８年度は千葉県市町村教育委員会連絡協議会幹事及び千葉県都市教育長協議会幹事を務めた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

我孫子市教育委員会教育長　　**丸　　智　彦**

令和３年、我孫子市教育委員会教育長に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を活かし、市内全小中学校への校内教育支援センターの整備を進め、児童生徒への支援体制の充実を図った。また、コミュニティ・スクールを推進し、学校と地域との連携・協働を進めるとともに、中学校部活動の地域展開を推進するなど、教育の充実・発展に貢献した。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

成田市教育委員会委員　　**佐　藤　　勲**

平成 26 年、成田市教育委員会委員に就任し、現在に至る。その間、令和元年 10 月からは教育長職務代理者を５年間、令和２年からは印旛地区教育委員会連絡協議会会長を４年間務めた。成田市大栄地区の小中学校の統合に関しては大栄地区小学校統合推進委員会の委員長として地域の意見集約にあたり、義務教育学校の開校に向けて尽力した。委員就任後はその卓越した見識と豊富な経験を活かし、コロナ禍での学校運営、ＩＣＴ教育の推進など成田市の教育環境の充実に対し適切な指導・助言を与えた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の振興に寄与した功績は大である。

八街市教育委員会委員　　**山　田　良　子**

平成 26 年、八街市教育委員会委員に就任し、同 28 年４月から教育委員長、同 29 年 12 月から教育長職務代理者を務め、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を活かし、学校の老朽化対策や空調設備の設置、ＩＣＴ教育の推進に向けたタブレット端末の導入、小中学校への学校運営協議会制度の導入など、八街市における教育環境の整備・充実に取り組むとともに適切な指導・助言を行った。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

元酒々井町教育委員会委員　　**村　重　浩　二**

平成 26 年、酒々井町教育委員会委員に就任し、12 年間務めた。その間、教育長職務代理者を２年６か月にわたり務めた。卓越した見識と豊富な経験を生かし、学校の老朽化対策や学校体育館へのスポットクーラー設置、学校給食調理業務の富里市への委託、ＩＣＴ教育を推進するための１人１台端末の導入及び児童生徒用机天板拡張器具の設置など、酒々井町の教育環境の整備に適切な指導・助言を与えた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

元横芝光町教育委員会委員　　**椎　名　義　明**

平成 26 年、横芝光町教育委員会委員に就任し、12 年間務めた。その間、教育長職務代理者を４年にわたり務めた。温厚で熱意ある姿勢をもって教育委員及び教職員との信頼関係を築き、教育課題の解決や教育行政の円滑な推進に尽力した。また、国及び県の教育の状況を把握しながら、広い識見と行動力を持ち、常に児童生徒そして保護者の立場から教育を論じ、横芝光町の教育環境の整備に適切な指導・助言を与えた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

睦沢町教育委員会委員　　**飯　塚　史美代**

平成 26 年、睦沢町教育委員会委員に就任し、現在に至る。その間、平成 29 年から教育長職務代理者を２年６か月にわたり務めた。委員就任前から、小学校における合唱指導や中学校音楽科非常勤講師として学校教育に携わった。卓越した見識と豊富な経験、特に芸術や文化に識見を有し、睦沢町の音楽教育の充実・発展に大きく貢献するとともに、睦沢小学校の開校や睦沢中学校創立 50 周年記念事業の実施に積極的に参画した。また、小中一貫教育導入にあたり、地域の実情や課題を適切に捉えた助言を与えた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

南房総市教育委員会委員　　**岡　﨑　俊　明**

平成 26 年、南房総市教育委員会委員に就任し、令和７年５月から教育長職務代理者を務め、現在に至る。長年の学校現場における豊富な経験と高い見識を活かし、幼児期から高校卒業までの成長を見据えた視点のもと、地域社会全体で子供を育む仕組みづくりや子供たちが郷土への愛着を持ち、健やかに成長できる環境づくりに努めた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の推進に寄与した功績は大である。

千葉県教育庁教育次長　　**伊　澤　浩　二**

平成４年、千葉県立検見川高等学校教諭。八千代西高等学校教諭、教育庁教職員課管理主事、同指導課指導主事、文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室係長、検見川高等学校教頭、教育庁児童生徒課生徒指導・いじめ対策室長を経て、令和３年、千葉市立稲毛高等学校長。その後、教育庁児童生徒安全課長、同県立高校統括監を歴任し、令和８年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県教育庁企画管理部長　　**吉　本　明　広**

平成２年、君津市立八重原中学校教諭。管内中学校教諭、教育庁教職員課管理主事、同教育総務課主査、木更津市立金田中学校教頭、教育庁南房総教育事務所管理主事、同教職員課人事室小中学校班長を経て、平成 28 年、木更津市立波岡小学校長。その後、教育庁教職員課任用室長、同教育振興部副参事、同企画管理部副参事、同東葛飾教育事務所長、同保健体育課長、同教職員課長、同教育総務課長、同教育振興部長を歴任し、令和８年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立中央図書館長　　**奈　良　伸一郎**

平成８年、千葉県立中央図書館司書。教育庁社会教育課主事、東部図書館司書、教育庁生涯学習課主事、同主任主事、同副主査、中央図書館調査課長、議会事務局図書課図書班長、東部図書館読書推進課長、中央図書館読書推進課長、教育庁生涯学習課副主幹、同社会教育振興室新県立図書館建設準備班長、中央図書館副館長、教育庁生涯学習課主幹を経て、令和７年、同教育振興部副参事。その後、令和８年から現職。この間、県立図書館機能の向上及び教育行政に実績を上げ、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

２　学校保健の部

市川市立稲荷木小学校学校医　　**斎　藤　信　彦**

昭和 59 年、市川市立第五中学校の学校医に就任。以来、現在に至るまで、同市立稲荷木小学校、北方小学校及び千葉県立特別支援学校市川大野高等学園の学校医として、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理などの学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、市川市医師会理事を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

野田市立岩木小学校学校医　　**岡　田　一　芳**

昭和 58 年、野田市立岩木小学校の学校医に就任。以来、現在に至るまで、同市立尾崎小学校、野田幼稚園、中央小学校及び千葉県立野田特別支援学校の学校医として、定期的に学校等へ赴き、園児児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内・園内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理などの学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、野田市医師会理事、副会長、会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

茂原市立鶴枝小学校学校医　　**千　葉　彌　幸**

昭和 61 年、千葉県立長生高等学校等の学校医に就任。以来、現在に至るまで、茂原市立鶴枝小学校、長柄町立長柄小学校等の学校医として、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理などの学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康　　保持増進に積極的に取り組んだ。また、茂原市長生郡医師会理事、副会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

南房総市立富浦小学校学校医　　**平　野　晴　夫**

昭和 60 年、南房総市立富浦小学校等の学校医に就任。以来、現在に至るまで、同市立富浦中学校、三芳小学校、館山市立那古船形小学校、鋸南町立鋸南幼稚園等の学校医として、定期的に学校等へ赴き、園児児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内・園内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理などの学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康保持増進に積極的に取り組んだ。本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

八千代市立大和田中学校学校医　　**浜　野　頼　隆**

昭和 59 年、八千代市立大和田中学校の学校医に就任。以来、現在に至るまで、同市立新木戸小学校の学校医として、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理などの学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、八千代市医師会理事を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

香取市立栗源中学校学校医　　**鈴　木　　純**

平成元年、栗源町立栗源中学校等の学校医に就任。以来、現在に至るまで、香取市立高萩小学校、同市立佐原小学校、伊地山幼稚園等、同市内複数校の学校医として定期的に学校等へ赴き、園児児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内・園内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理などの学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、香取郡市医師会理事を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

市原市立南総中学校学校医　　**藤　原　　稔**

昭和 58 年、市原市立平三小学校等の学校医に就任。以来、現在に至るまで、同市立南総中学校、牛久幼稚園等、同市内複数校の学校医として、定期的に学校等へ赴き、園児児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内・園内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理などの学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、市原市医師会理事を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元浦安市立北部小学校学校歯科医　　**熊　川　　博**

昭和 58 年、浦安市立美浜北小学校の学校歯科医に就任。以来、長きにわたり、同市立入船南小学校、北部小学校、北部こども園、猫実保育園の学校歯科医として定期歯科健康診断を行うなど、園児児童の健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、浦安市歯科医師会専務理事、副会長、会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

野田市立関宿小学校学校歯科医　　**守　川　　巧**

昭和 59 年、関宿町立二川小学校の学校歯科医に就任。以来、現在に至るまで、野田市立関宿中部幼稚園、同市立二川中学校、関宿中学校、関宿小学校、千葉県立関宿高等学校の学校歯科医として定期歯科健康診断を行うなど、園児児童生徒の健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、野田市歯科医師会理事として、会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

木更津市立波岡小学校学校歯科医　　**山　口　延　善**

昭和 54 年、木更津市立波岡小学校の学校歯科医に就任。以来、現在に至るまで、学校法人君津学園木更津総合高等学校の学校歯科医として定期歯科健康診断を行うなど、児童生徒の健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、君津木更津歯科医師会理事、専務理事、副会長、会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元市原市立白幡小学校学校歯科医　　**泉　水　博　史**

昭和 54 年、市原市立白幡小学校等の学校歯科医に就任。以来、長きにわたり、同市若宮小学校、東海大学付属市原望洋高等学校の学校歯科医として定期歯科健康診断を行うなど、児童生徒の健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、市原市歯科医師会理事として、会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

松戸市立六実中学校学校歯科医　　**富　永　庸　平**

平成３年、松戸市立六実中学校の学校歯科医に就任。以来、現在に至るまで学校歯科医として定期歯科健康診断や歯科相談・口腔衛生指導を行うなど、生徒の健康保持増進に積極的に取り組んだ。特に学校保健の重要性を認識し事業に取り組むなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元千葉市立磯辺第二中学校学校歯科医　　**砂　川　　豊**

昭和 59 年、千葉市立磯辺第二中学校の学校歯科医に就任。以来、長きにわたり、同市立真砂第二保育所、千葉県立京葉工業高等学校、千葉市立千葉高等学校の学校歯科医として定期歯科健康診断や歯科相談・口腔衛生指導を行うなど、園児生徒の健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、千葉市歯科医師会理事、副会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元千葉県立天羽高等学校学校薬剤師　　**小　柴　歳　一**

昭和 63 年４月、富津市立湊小学校学校薬剤師に就任。以来、長きにわたり、同市立天羽小学校、千葉県立天羽高等学校の学校薬剤師として、卓越した知識と優れた技術を持ってその結果に基づき、長きにわたり児童生徒のために指導・助言を行うなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

３　芸術文化の部

（１）個人の部

千葉県美術会常任理事　　**和　中　簡　堂**

大東文化大学を卒業後、書家の故青山杉雨氏、故小林斗盦氏、両氏に師事し、書道を学ぶ。平成５年・８年に日展特選を受賞。平成 28 年から千葉県美術会常任理事を、同 29 年以降は県展書道部門の審査員を務める。県展及び県美術会の発展や後進の指導育成に尽力するなど、書道を通じて本県文化芸術の振興に寄与した功績は大である。

千葉県美術会常任理事　　**岡　本　明　久**

東京芸術大学において日本画を学ぶ。平成 18・20 年に日展特選を受賞し、令和３年に日展審査員を務める。平成 28 年に千葉県美術会理事を、令和元年からは常任理事を務める。また、平成 29 年以降は県展日本画部門の審査員を務める。県展及び県美術会の発展や後進の指導育成に尽力するなど、日本画を通じて本県文化芸術の振興に寄与した功績は大である。

千葉県写真美術会　　**皆　川　　靖**

平成 17 年に千葉県写真美術会の役員に就任後、副会長を経て、令和７年から会長を務める。展覧会や研修会等の各種事業を実施し、写真芸術の発展・普及に尽力した。特に、毎年県が主催する千葉・県民文化祭に長年参加し、広く県民から作品を公募する「千葉県写真展」の開催及び入賞作品写真集の刊行により、写真技術の向上とともに写真文化の高揚、保存活用に尽力するなど、本県文化芸術の振興に寄与した功績は大である。

（公社）日本舞踊協会千葉県支部　　**市　山　竹紫郎**

平成 25 年に（公社）日本舞踊協会千葉県支部の役員に就任、令和元年に支部長となり、同７年から副支部長を務める。成田空港で開催した若者による訪日外国人に向けた公演で中心的な役割を果たすなど、日本舞踊の普及に尽力した。また、毎年県が主催する千葉・県民文化祭に長年参加し、同会が主催する「日本舞踊公演」を通じて、舞踊家の技能教養の向上と日本舞踊の高揚に尽力するなど、本県文化芸術の振興に寄与した功績は大である。

元千葉県文化財保護審議会会長　　**神　庭　信　幸**

保存科学者、臨床保存修復士として、保存（修復）を専門とし、平成 28 年から 10 年間、千葉県文化財保護審議会委員に委嘱され、令和６・７年度は会長を務めた。主に、保存科学の分野から、県指定文化財の保存状況に関して保存環境への重要な提言を行った。特に令和６・７年度は、会長として文化財保護審議会の運営に尽力するなど、本県文化財の保護に寄与した功績は大である。

元千葉県文化財保護審議会委員　　**久留島　典　子**

日本中世史（後期中世社会）を専門とし、平成 26 年度から令和５年度まで千葉県文化財保護審議会委員を務めた。主に、有形文化財（書籍・典籍・古文書・歴史資料（中世））の分野において、重要な提言を行い、県指定有形文化財の「天正検地帳」や「絹本著色両界曼荼羅図」などの文化財調査を数多く実施し、専門的な見地から的確な助言を行うなど、本県文化財の保護に寄与した功績は大である。

千葉県文化財保護指導委員　　**越　川　敏　夫**

平成 23 年、千葉県文化財保護指導委員に就任し、現在に至る。神崎町、成田市に所在する国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地の巡視活動に従事し、文化財の保護に尽力してきた。埋蔵文化財や郷土史に造詣が深く、長きにわたって継続して精力的に従事しており、本県文化財の保護に寄与した功績は大である。

袖ケ浦市文化財審議会会長　　**髙　橋　　克**

江戸川大学名誉教授。民俗学、博物館学、文化財学、日本文学を専門とし、市原市、富津市、君津市、袖ケ浦市、印西市の文化財審議会委員を務める。文化財を保存・活用するための調査研究に長年従事し、令和７年からは袖ケ浦市文化財審議会会長として審議会の運営に尽力するなど、本県文化財の保護に寄与した功績は大である。

（２）団体の部

匝瑳市文化団体協議会

平成 18 年４月に八日市場市と野栄町の合併を受けて設立。以来、従来の旧市町の文化会が実施してきた文化祭を継続して開催するとともに、匝瑳市の統括文化団体として生涯学習祭を開催するなど、各種文化芸術事業を通じて様々な分野の加盟団体相互の連携を図るとともに、市民の文化芸術活動の機運の向上及び文化芸術に触れ親しむ機会の提供に尽力した。また、平成 25 年からは千葉県芸術文化団体協議会に加盟し、さらに活動の幅を広げるなど、本県文化芸術の振興に寄与した功績は大である。

太田八坂神社氏子会

太田八坂神社氏子会が伝承する千葉県指定無形民俗文化財「太田のエンヤーホー」は、八坂神社の７月の祭礼において公開される。エンヤーホーとは、無言劇とつく柱上で演じられる軽業の総称であり、軽業は無言劇の最終演目として演じられる。軽業の姿は、室町から近世初頭に見世物として流行した「蜘蛛舞」という曲芸に近似し、祇園祭礼と結びついて伝承されたことをうかがわせる。「太田のエンヤーホー」は、かつて流行した曲芸が地元の祭礼と結びついて伝承されてきた、芸能の変遷の過程を知るうえで重要な民俗文化財である。現在も 440 名の会員が活発に活動しており、文化財保持団体として、本県文化財の保護に寄与した功績は大である。

４　社会教育の部

（１）個人の部

前千葉県ＰＴＡ連絡協議会会長　　**富　田　勇　人**

平成 23 年度の市川市立鬼高小学校ＰＴＡ会長を皮切りに、平成 24 年度から令和７年度まで市川市ＰＴＡ連絡協議会の本部役員である理事、副会長、会長を歴任した。また、千葉県ＰＴＡ連絡協議会において、令和３・４年度に理事、同５・６年度に副会長、同７年度に会長を歴任。会長就任後は、強いリーダーシップを発揮し、本部役員、各郡市選出の理事と綿密にコミュニケーションを図りながら、協議会における事業計画の改革、組織のスリム化等を積極的に推し進めることにより、持続可能なＰＴＡ活動の振興に尽力し、本県社会教育の進展に寄与した功績は大である。

日本ボーイスカウト千葉県連盟副理事長　　**野　中　浩　章**

平成４年から隊指導者としてのスカウトに指導支援にあたり、同 21 年からはベンチャー隊長として団初めてとなる富士スカウト誕生への指導を行った。同時に平成 14 年から同 25 年まで南総地区副コミッショナー、団担当コミッショナー、地区コミッショナーとして地区内指導者の資質向上に貢献した。県連盟では県カブラリーの実施運営について歴任し、日本ジャンボリー各種大会スタッフとして事業の推進に寄与した。県連盟においては平成 26 年から現在まで地区代表理事と連盟の運営に尽力しており、本県社会教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県子ども会育成連合会常務理事　　**八　巻　憲　一**

平成元年に地元子ども会に加入後、同５年から現在に至るまで通算 33 年間八千代市子ども会育成連絡協議会にて活動し、令和４年から現在まで会長を務めている。また、平成 29 年から千葉県子ども会育成連合会理事、令和元年から副会長、同５年から現在に至るまで常務理事を務めている。ジュニア・リーダーの育成には特に熱心に取り組み、育成者や指導者の指導、育成、相談など様々な分野で貢献した。周囲の信頼も厚く、本県社会教育の進展に寄与した功績は大である。

（２）団体の部

千葉市犢橋公民館

昭和 29 年開館。以来、千葉市でも最も古い公民館の一つとして地域の社会教育を支えてきた。令和５年度、さわやかちば県民プラザ主催「ちば講座アワード」にて「地域をつなぐ、犢橋公民館の特色を生かしたクラフト体験講座」が入選、同６年度は「地域をつなぐ『エンジョイミュージック　エレクトーン コンサート』」が審査員特別賞を受賞、同７年度は地域の民生委員と連携して実施した「犢橋茶話会」が入選を果たした。地域の小中学校や高等学校、社会福祉協議会等とも連携した「犢橋出前講座」等も企画しており、千葉市並びに本県社会教育の進展に寄与した功績は大である。

南房総市図書館

平成 18 年創立。幅広い世代の市民が読書に親しめる環境づくりに力を入れている。子供向けには絵本とオリジナルバッグを贈呈する「はじめての絵本」事業や、合併前旧７地区でのボランティアによる「おはなし会」等を実施している。大人向けには図書と落語を絡めた事業や、読み聞かせの講習会等を実施している。また、利用者の読書意欲向上のため、読書手帳の配付等も行っているほか、学校との連携を重視し、団体貸出や職業体験、図書担当者との情報交換会等を積極的に実施している。南房総市並びに本県社会教育の進展に貢献した功績は大である。

５　学校教育の部

（１）個人の部

ア　県立学校

千葉県立検見川高等学校長　　**松　﨑　正　敏**

平成３年、千葉県立市原緑高等学校教諭。土気高等学校教諭、成東高等学校教諭、県総合教育センター指導主事、教育庁指導課指導主事、大網白里市立白里中学校教頭、成東高等学校教頭、教育庁学習指導課主席指導主事、同教育政策課主幹を経て、令和５年、四街道特別支援学校長。その後、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、地理歴史科及び公民科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立犢橋高等学校長　　**金　田　幸　夫**

平成３年、千葉県立東金高等学校教諭。柏中央高等学校教諭、佐倉高等学校教諭、教育庁生涯学習課副主幹、商工労働部雇用労働課副主幹、教育庁県立学校改革推進課副主幹、千葉特別支援学校教頭、教育庁教育政策課副主幹、同特別支援教育課主席指導主事、同特別支援学校整備室長を経て、令和５年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、地理歴史科及び公民科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立船橋東高等学校長　　**前　田　啓　一**

平成２年、船橋市立船橋高等学校教諭。千葉県立千葉工業高等学校教諭、習志野市立習志野高等学校教諭、八千代高等学校教諭、八千代市立八千代中学校教諭、教育庁体育課指導主事、市川南高等学校教頭、教育庁体育課主幹（公益財団法人千葉県スポーツ協会派遣）、環境生活部環境政策課主幹（公益財団法人千葉県スポーツ協会派遣）を経て、令和５年、我孫子高等学校長。その後、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立佐倉高等学校長　　**神　﨑　勝　弘**

平成４年、千葉県立茂原高等学校教諭。茂原農業高等学校教諭（平成 18 年から茂原樟陽高等学校に統合）、犢橋高等学校教諭、千葉中学校兼ねて千葉高等学校教諭、国府台高等学校教諭、県総合教育センター研究指導主事、柏高等学校教頭、教育庁学習指導課主席指導主事、県総合教育センター学力調査部長を経て、令和５年、市川市立妙典中学校長。その後、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立匝瑳高等学校長　　**澁　谷　義　範**

平成２年、千葉県立柏西高等学校教諭（平成 19 年から柏の葉高等学校に統合)。下総高等学校教諭、匝瑳高等学校教諭、銚子市立銚子高等学校教諭、銚子市教育委員会学校教育課主査、銚子市立銚子高等学校教頭、教育庁教職員課管理主事、同主席管理主事、教育庁保健体育課副課長を経て、令和５年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立成東高等学校長　　**成　川　賢　一**

平成元年、千葉県立多古高等学校教諭。八街高等学校教諭、匝瑳高等学校教諭、教育庁指導課指導主事、成東高等学校教頭、成田国際高等学校教頭を経て、令和４年、多古高等学校長。その後、令和６年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、英語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立長生高等学校長　　**森　　裕　嗣**

平成３年、千葉県立成東高等学校教諭。大原高等学校教諭、長生高等学校教諭、商工労働部経済政策課主査、教育庁指導課指導主事、同教職員課管理主事、松尾高等学校教頭、教育庁児童生徒課指導主事、同主席指導主事、同生徒指導・いじめ対策室長、教育庁児童生徒安全課生徒指導・いじめ対策室長を経て、令和５年、茂原高等学校長。その後、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、英語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立矢切特別支援学校長　　**松　浦　雅　子**

平成４年、千葉県立松戸養護学校教諭。千葉大学教育学部附属養護学校教諭、桜が丘養護学校教諭（平成 19 年から千葉県立桜が丘特別支援学校に校名変更)、野田特別支援学校教諭、特別支援学校流山高等学園教頭、市川特別支援学校教頭、野田特別支援学校教頭を経て、令和４年、船橋夏見特別支援学校長。その後、令和６年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立君津特別支援学校長　　**佐々木　　操**

平成２年、千葉県立千葉聾学校教諭。安房養護学校教諭、館山聾学校教諭、安房特別支援学校教諭、教育庁南房総教育事務所指導主事、君津特別支援学校教頭、槇の実特別支援学校教頭を経て、令和４年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立千葉高等学校事務主幹　　**笹　本　真佐美**

昭和 60 年、千葉県立野田北高等学校主事。船橋豊富高等学校主事、四街道養護学校主事、千葉北高等学校主事、同主任主事、同副主査、千葉養護学校副主査、四街道養護学校副主査（平成 19 年から四街道特別支援学校に校名変更）、千葉工業高等学校主査、佐倉東高等学校主査、若松高等学校主査を経て、その後、千葉聾学校事務長、四街道高等学校事務長を歴任し、令和７年から現職。この間、よく校長を補佐し、円滑な学校事務の運営に努め、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立東葛飾高等学校事務主幹　　**佐　藤　　武**

昭和 60 年、千葉県立薬園台高等学校主事。松戸馬橋高等学校主事、野田養護学校主事、同主任主事、同副主査、松戸高等学校副主査、教育庁印旛地方出張所副主査、教育庁北総教育事務所副主査、柏西高等学校副主査（平成 19 年から柏の葉高等学校に統合）、八千代西高等学校主査、流山北高等学校主査、東葛飾高等学校主査、柏特別支援学校主査を経て、平成 30 年、松戸馬橋高等学校事務長。その後、我孫子特別支援学校事務長となり、令和６年から現職。この間、よく校長を補佐し、円滑な学校事務の運営に努め、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立成田国際高等学校事務主幹　　**郡　司　利　久**

昭和 60 年、佐原市立北佐原小学校主事。多古町立多古第二小学校主事、教育庁香取地方出張所主事、佐倉高等学校主事、同主任主事、教育庁文化課主任主事（千葉県社会教育施設管理財団派遣）、同副主査、香取養護学校副主査、佐原高等学校副主査、印旛高等学校主査（平成 22 年から印旛明誠高等学校に校名変更）、県立千葉中学校主査、我孫子特別支援学校主査を経て、平成 26 年、湖北特別支援学校事務長。その後、佐倉南高等学校事務長、同事務主幹、幕張総合高等学校事務主幹、栄特別支援学校事務主幹を歴任し、令和７年から現職。この間、よく校長を補佐し、円滑な学校事務の運営に努め、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

イ　市町村立学校

八千代市立大和田南小学校長　　**髙　原　敬　介**

平成２年、八千代市立大和田南小学校教諭。管内小学校教諭、八千代市適応支援センター指導主事、県水道局管理部総務企画課主査、同技術部計画課主査、八千代市教育委員会学務課主査、八千代市立萱田小学校教頭、県子どもと親のサポートセンター研究指導主事を経て、令和２年、八千代市立米本小学校長。その後、八千代市教育委員会指導課長、同教育次長を歴任し、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

船橋市立法典東小学校長　　**渡　部　香　里**

平成２年、船橋市立前原中学校教諭。管内中学校教諭、教育庁教育政策課主査、船橋市立葛飾小学校教頭、同市立南本町小学校教頭、船橋市教育委員会指導課副主幹を経て、平成 31 年、船橋市立行田東小学校長。その後、県子どもと親のサポートセンター支援事業部長、教育庁教育政策課教育立県推進室長、同葛南教育事務所次長を歴任し、令和６年３月から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、英語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

松戸市立相模台小学校長　　**熊　澤　光　洋**

平成元年、柏市立柏第八小学校教諭。管内小学校教諭、松戸市教育委員会学務課管理主事、松戸市立柿ノ木台小学校教頭、教育庁東葛飾教育事務所管理主事を経て、平成 30 年、松戸市立六実小学校長。その後、教育庁東葛飾教育事務所主席管理主事、県総合教育センター研修企画部主席研究指導主事、同総務課主席研究指導主事、松戸市立六実第二小学校長を歴任し、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、算数科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

野田市立中央小学校長　　**土　屋　孝　之**

平成２年、野田市立第一中学校教諭。管内小学校教諭、野田市教育委員会学校教育課管理主事、野田市立みずき小学校教頭、教育庁東葛飾教育事務所管理主事を経て、令和２年、野田市立川間小学校長。その後、野田市教育委員会学校教育部長となり、令和６年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

鎌ケ谷市立中部小学校長　　**菅　井　洋　子**

平成３年、習志野市立津田沼小学校教諭。県内小学校教諭、教育庁東葛飾教育事務所指導主事、鎌ケ谷市立中部小学校教頭、鎌ケ谷市教育委員会学校教育課指導主事、鎌ケ谷市立鎌ケ谷小学校副校長を経て、令和３年、浦安市立東野小学校長。その後、鎌ケ谷市教育委員会学校教育課長となり、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、国語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

印西市立木刈小学校長　　**髙　塚　啓　子**

平成２年、印旛郡印西町立大森小学校教諭。管内小学校教諭、印西市教育委員会指導課指導主事、印西市立大森小学校教頭、教育庁北総教育事務所指導主事を経て、平成 31 年、印西市立高花小学校長。その後、教育庁北総教育事務所主席指導主事となり、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

富里市立富里小学校長　　**曽根崎　高　志**

平成３年、成田市立玉造中学校教諭。管内中学校教諭、八街市立八街中央中学校教頭、教育庁北総教育事務所指導主事を経て、平成 31 年、成田市立平成小学校長。その後、教育庁北総教育事務所主席指導主事、同香取分室長を歴任し、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、算数・数学科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

東金市立正気小学校長　　**佐　藤　大　作**

平成７年、旭市立中央小学校教諭。県内小学校教諭、日本人学校教諭、教育庁東上総教育事務所指導主事、大網白里市立大網小学校教頭、教育庁学習指導課指導主事を経て、平成 31 年、東金市立豊成小学校長。その後、山武郡市広域行政組合教育委員会教育支援課長、県子どもと親のサポートセンター教育相談部長を歴任し、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、外国語教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

茂原市立東郷小学校長　　**鈴　木　圭　一**

平成元年、長生郡白子町立南白亀小学校教諭。管内小学校教諭、国立赤城青少年交流の家企画指導専門職、教育庁生涯学習課社会教育主事、茂原市立二宮小学校教頭、教育庁東上総教育事務所管理主事を経て、平成 31 年、茂原市立新治小学校長。その後、教育庁東上総教育事務所主席社会教育主事、同主席管理主事、同管理課長、同次長を歴任し、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

茂原市立東部小学校長　　**矢　部　　博**

平成２年、長生郡長南町立長南小学校教諭。管内小学校教諭、茂原市立本納小学校教頭、教育庁東上総教育事務所管理主事を経て、令和３年、茂原市立新治小学校長。その後、茂原市教育委員会学校教育課長となり、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

袖ケ浦市立奈良輪小学校長　　**前　沢　幸　雄**

平成元年、君津市立八重原小学校教諭。管内小学校教諭、袖ケ浦市教育委員会学校教育課指導主事、袖ケ浦市立長浦小学校教頭、袖ケ浦市立総合教育センター所長、教育庁特別支援教育課指導主事を経て、令和２年、袖ケ浦市立昭和小学校長。その後、袖ケ浦市教育委員会参事兼学校教育課長となり、令和６年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立花園小学校長　　**久保木　　修**

平成元年、千葉市立検見川小学校教諭。千葉市内小学校教諭、千葉市教育委員会養護教育センター指導主事、同指導課指導主事、千葉市立養護学校教頭、千葉市教育委員会養護教育センター主任指導主事、同教育支援課主任指導主事を経て、平成 31 年、千葉市立養護学校長。その後、千葉市教育委員会養護教育センター所長、千葉市立本町小学校長を歴任し、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の振興に寄与した功績は大である。

八千代市立高津中学校長　　**米　石　達　也**

平成元年、八千代市立高津中学校教諭。管内中学校教諭、八千代市教育委員会指導課指導主事、八千代市立阿蘇中学校教頭、教育庁葛南教育事務所指導主事を経て、平成 30 年、八千代市立睦中学校長。その後、八千代市立村上東中学校長となり、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

船橋市立船橋中学校長　　**日　高　祐一郎**

平成２年、千葉県立我孫子養護学校教諭。管内中学校教諭、船橋市教育委員会学務課副主査、同主査、船橋市立坪井中学校教頭、船橋市教育委員会学務課副主幹、同課長補佐を経て、平成 29 年、船橋市立芝山中学校長。その後、船橋市教育委員会学務課主幹、同課長、教育庁葛南教育事務所次長、船橋市教育委員会学校教育部長を歴任し、令和８年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、国語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

市川市立第二中学校長　　**藤　井　義　康**

平成２年、市川市立養護学校教諭。県内中学校教諭、市川市教育委員会地域教育課主査、同義務教育課副主幹、市川市立第七中学校教頭、教育庁葛南教育事務所管理主事を経て、平成 31 年、市川市立塩浜学園校長。その後、市川市教育委員会義務教育課長、同学校教育部長を歴任し、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別活動の充実に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

松戸市立第六中学校長　　**石　橋　　聡**

平成元年、松戸市立第一中学校教諭。管内中学校教諭、教育庁教育総務課主査、松戸市教育委員会学務課管理主事、松戸市立第六中学校教頭、同第一中学校副校長を経て、平成 31 年、松戸市立小金北中学校長。その後、松戸市教育委員会学務課長、同学校教育部長を歴任し、令和６年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

流山市立常盤松中学校長　　**澁　木　宏　紀**

平成２年、柏市立土中学校教諭。管内中学校教諭、流山市教育委員会指導主事、同管理主事、流山市立小山小学校教頭、教育庁東葛飾教育事務所管理主事を経て、令和４年、流山市立向小金小学校長。その後、流山市教育委員会学校教育部次長となり、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、技術科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

白井市立桜台中学校長　　**堀　　行　伸**

平成２年、千葉県立千葉盲学校寮母。管内中学校教諭、白井市教育委員会学校教育課指導主事、白井市立南山中学校教頭、教育庁北総教育事務所指導主事を経て、令和２年、佐倉市立臼井西中学校長。その後、教育庁北総教育事務所主席指導主事となり、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

東庄町立東庄中学校長　　**土　屋　　敦**

平成２年、香取郡小見川町立小見川中学校教諭。管内中学校教諭、香取市立香取中学校教頭、教育庁指導課指導主事、同教職員課管理主事を経て、平成 31 年、印旛郡栄町立竜角寺台小学校長。その後、教育庁教職員課主席管理主事、同児童生徒安全課主席指導主事、同主幹、教育庁北総教育事務所指導室長を歴任し、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

東金市立西中学校長　　**高知尾　敦　博**

平成元年、山武郡成東町立成東中学校教諭。管内中学校教諭、教育庁東上総教育事務所指導主事、東金市立東金中学校教頭、教育庁教育政策課副主幹を経て、平成 31 年、山武郡芝山町立芝山中学校長。その後、教育庁学習指導課主席指導主事、同義務教育指導室長を歴任し、令和５年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、英語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

茂原市立茂原中学校長　　**渡　邉　健　二**

平成２年、茂原市立東中学校教諭。管内小中学校教諭、教育庁東上総教育事務所指導主事、教育庁指導課指導主事、千葉大学教育学部附属教員養成開発センター准教授を経て、平成 31 年、茂原市立本納中学校長。その後、教育庁児童生徒課主席指導主事、県子どもと親のサポートセンター教育相談部長を歴任し、令和５年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、国語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

いすみ市立大原中学校長　　**鈴　木　克　則**

平成元年、君津市立小櫃中学校教諭。県内中学校教諭、勝浦市立豊浜小学校教頭、教育庁東上総教育事務所管理主事を経て、平成 31 年、いすみ市立太東小学校長。その後、教育庁東上総教育事務所主席管理主事、同管理課長、同次長、南房総教育事務所長を歴任し、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

大多喜町立大多喜中学校長　　**高　松　　浩**

平成２年、夷隅郡大原町立大原中学校教諭。管内中学校教諭、県総合教育センター研究指導主事、君津市立小櫃小学校教頭、大多喜町教育委員会教育課主査を経て、令和２年、いすみ市立浪花小学校長。その後、教育庁東上総教育事務所夷隅分室長、同主席指導主事、同指導室長を歴任し、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、算数・数学科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

市原市立国分寺台中学校長　　**滝　口　隆　一**

平成元年、市原市立双葉中学校教諭。管内中学校教諭、教育庁南房総教育事務所指導主事、市原市立国分寺台中学校教頭を経て、平成 31 年、市原市立南総中学校長。その後、市原市教育委員会指導課長となり、令和６年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立椿森中学校長　　**細　川　義　文**

平成２年、千葉市立小中台中学校教諭。千葉市内中学校教諭、教育庁指導課指導主事、千葉市立川戸中学校教頭を経て、令和３年、千葉市立山王中学校長。その後、千葉市教育委員会教育センター所長となり、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に国語科教育の振興に尽力し、本県教育の振興に寄与した功績は大である。

千葉市立小中台中学校長　　**保　田　裕　介**

平成２年、千葉市立星久喜中学校教諭。千葉市内中学校教諭、千葉市立新宿中学校教頭、千葉市教育委員会教育支援課指導主事、同主任指導主事を経て、令和３年、千葉市立花園中学校長。その後、千葉市教育委員会教育支援課長となり、令和７年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に国語科教育の振興に尽力し、本県教育の振興に寄与した功績は大である。

千葉市立真砂中学校長　　**栗　田　謙　正**

平成２年、千葉市立犢橋中学校教諭。千葉市内中学校教諭、日本人学校教諭、県総合教育センター研究指導主事、千葉市教育委員会県費移譲課管理主事、同教育職員課管理主事、千葉市立桜木小学校教頭、千葉市教育委員会教育職員課管理主事、同主任管理主事を経て、令和３年、千葉市立小中台中学校長。その後、千葉市青少年サポートセンター所長となり、令和６年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に理科教育の振興に尽力し、本県教育の振興に寄与した功績は大である。

千葉市教育委員会学校教育部長　　**川　名　正　雄**

平成２年、千葉市立山王小学校教諭。千葉市内小学校教諭、千葉市教育委員会指導課指導主事、千葉市立みつわ台南小学校教頭、千葉市教育委員会教育職員課管理主事、同主任管理主事を経て、平成 31 年、千葉市立高浜第一小学校長。その後、千葉市教育委員会教育職員課統括管理主事、千葉市教育委員会教育センター所長を歴任し、令和５年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特にキャリア教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

（２）団体の部

千葉県立東葛飾高等学校

大正 13 年開校。以来、自主自律の校是のもと、確かな学力と幅広い教養を身に付け、他者と協働しながら未来を切り拓く心豊かな次代のリーダーを育成することを目標に、先進的な取組を行っている。平成 26 年度に「医歯薬コース」が設置され、地域医療を担う人材を育成するとともに、平成 27 年度から千葉県教育委員会による「中高一貫教育重点校」の指定を受け、多くの研究実績も上げている。令和６年度から「ＤＸハイスクール」に採択され、校務ＤＸや探究的・文理横断的な学びを推進している。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立飯高特別支援学校

平成 27 年開校。以来、地域とともにある学校をめざし、地域住民の学校運営への参画を推進してきた。平成 28 年度に県教育委員会「地域に根差した学校づくり」の研究指定、平成 29・30 年度に文部科学省の「コミュニティ・スクール」関連事業に採択され、地域の小中学校や自主防災会等と連携した避難所開設訓練等の取組を推進した。これらの取組が評価され、令和４年度に「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞。現在も飯高壇林跡を守る会との飯高寺の清掃活動をはじめ、９団体との継続的な交流を実施しており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

山武市立日向小学校

令和３年市内２小学校を統合し開校。以来、地域の教育推進校として様々な教育実践に努めている。令和４年度には千葉県教育委員会から「千葉県通学路推進事業（学校安全総合支援事業）」拠点校として指定を受けた。令和５年度には文部科学省委託事業「リーディングＤＸスクール事業」研究指定校として、ＣＢＴ活用による業務効率化と確かな学力向上の実現を図った。同年度に千葉県金融広報委員会から「金融・金銭教育研究校」の指定を受け、令和７年度に千葉県金融経済教育協議会において研究報告を行った。これらの教育実績は高く評価されており、本県教育の推進に寄与した功績は大である。

一宮町立東浪見小学校

明治６年開校。以来、地域社会の特性に応じて精力的に教育実践に努め、大きな成果を上げてきた。平成 28 年度には千葉県教育委員会「特色ある道徳教育推進校における推進事業」道徳教育推進校として先進的な研究実践に取り組んだ。平成 29 年度から令和３年度には「オリパラ教育推進校」として、令和２年度から令和４年度には「福祉教育推進校指定事業」推進校として、令和５年度には「パラアスリート学校訪問事業」実施校として千葉県教育委員会から指定を受け、地域と連携しながら幅広く活動してきた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

いすみ市立長者小学校

明治７年開校。以来、先進的な教育実践を積み重ねている。令和元・７年度には「高等学校と連携した食育活動支援事業」の指定校、令和３・４年度には「学童農園推進事業」実施校、令和５年度には「学童農園・食育活動支援事業」実施校として千葉県教育委員会から指定を受け、食育活動の推進を図った。令和４年度には「心のバリアフリー教育推進事業」の地域拠点校として特色ある学習活動を実践した。令和７年度からは「『ちばっ子の学び変革』推進事業」の指定校となり、算数科を中心に学力向上を推進している。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立磯辺第三小学校

昭和 56 年開校。以来、多様な教育課題の研究に優れた成果を残している。平成 27 年度には「環境学習モデル校」として、平成 28 年度には「ボランティア教育推進校」として、千葉市教育委員会から指定を受け、研究を積み重ね、平成 29 年度に千葉市教育功労賞を受賞した。令和６・７年度には千葉市教育委員会から「学習指導」の研究指定を受け、「自分を友達をそして地域を愛する子供の育成～自己を見つめ、友達と学び合う道徳学習～」を研究主題として、特別の教科道徳を中心に研究に取り組んだ。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立越智小学校

昭和 57 年開校。以来、児童や地域の実態に即した研究を積み重ねてきた。学校経営の基本方針として「地域とともにある学校経営」を掲げ、地域人材をいかした学校づくりに継続的に取り組んでいる。令和元年度には千葉市教育委員会から「環境学習モデル校」の指定を受け、校内のビオトープや周辺の豊かな自然を活用した研究に取り組んだ。令和６・７年度には千葉市教育委員会から「学習指導」の研究指定を受け、「地域をいかした特色ある学びの創造」を主題とし、生活科・総合的な学習を通して研究した。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立美浜打瀬小学校

平成 18 年開校。以来、生活科と社会科を中心に継続して研究に取り組み、成果を上げた。平成 28・29 年度には千葉市教育委員会から「学習指導」の研究指定を受け、「主体的な学びを通して、気付きの質を高め考えを深める児童の育成」を目指して研究し、平成 29 年度に千葉市教育功労賞を受賞した。令和元・２年度、令和６・７年度にも千葉市教育委員会から「学習指導」の研究指定を受けた。令和６・７年度には「自ら学び続ける児童の育成」を研究主題とし、単元内自由進度学習等を取り入れた研究を行った。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

鎌ケ谷市立第五中学校

昭和 59 年開校。以来、福祉教育や教科指導において研究実績を上げている。令和５年度には日本赤十字社千葉県支部から「青少年赤十字研究推進校」として３年間の指定を受け、「思いやりの心を育む地域と連携したＪＲＣ活動」を研究主題として実践を行い、令和７年度に公開研究会を実施した。令和５・６年度には千葉県教育委員会から「『ちばっ子の学び変革』推進事業研究指定校」に指定され、「基礎学力の定着と諦めずに考える力をつけさせる授業を目指して」を研究主題として、研究に取り組んだ。これらの研究や実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立都賀中学校

昭和 50 年開校。以来、千葉市教育委員会から様々な分野で研究指定を受け、先進的な取組を行っている。平成 28 年度には校内研究主題を「生きる力を育むための教育実践のあり方～基礎・基本の定着を図り、意欲的な学びを促す教育活動の工夫～」と定め、学習指導の課題解明に取り組んだ。平成 30 年度・令和元年度及び令和６・７年度には千葉市教育委員会から「学習指導」の研究指定を受けた。千葉市の教育課題である「キャリア教育」と「カリキュラムマネジメント」の視点から研究を行い、成果を上げた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。